

平成24年度教育研究活動報告書

氏 名	藤井佐美	所 属	日本文学科
学 位	博士（文学）	職 位	准教授
専門分野	伝承文学・民俗学		
I 教育活動			
本年度担当科目			
学 部	日本の文学、民話研究、民俗学Ⅰ、民俗学Ⅱ、瀬戸内文化論、伝承文学専門演習a、伝承文学専門演習b、卒業論文（構想・準備）、卒業論文（制作）、科目フィールドワーク		
大学院	地域文学特論		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
<p>（1）『真言系唱導説話の研究——付・翻刻 仁和寺所蔵『真言宗打聞集』』（単著書籍、日本学術振興会科学研究費助成出版図書、三弥井書店、2008）</p>			
<p>（2）行遍口傳『参語集』覚書（『唱導文学研究』第6集所収論文、三弥井書店、2008年）</p>			
<p>（3）内閣文庫蔵『金玉要集』六度集経説話の背景（『唱導文学研究』第5集所収論文、三弥井書店、2007年）</p>			
<p>（4）亀の教え——民間説話「人魚と津波」の視座より——（『尾道大学日本文学論叢』第2号所収論文、2006年）</p>			

(5) 「人魚と津波」の伝承世界---南島の「物言う魚」をめぐる--- (『奄美沖縄民間文学』第6号所収論文、2006年)

本年度を含む過去5年間の研究業績

(1) 『説経才学抄』の荘厳説話---幡・宝蓋・花鬘を中心に--- (『立命館文学』630号所収論文、2013年3月刊行予定)

(2) 尾道市因島中庄町の秋祭を歩く---平成二十三年度の神事より--- (『尾道文学談話会会報』第3号所収、2012年)

(3) 南島説話と祭祀の変容---神女・真乙姥をめぐる伝承--- (『尾道市立大学日本文学論叢』第8号所収論文、2012年)

(4) 『説経才学抄』堂舎の説話---建立から修理へ--- (『伝承文学研究』第61号所収論文、2012年)

(5) 石垣島の御嶽と説話---四箇の伝承事例を中心に--- (『説話・伝承学』第20号所収論文、2012年)

(6) 新資料『紫式部物語 附・和泉式部物語』紹介---解題・影印・翻刻--- (和泉書院研究叢書387『平安文学研究・衣笠編』所収、2009年)

現在の研究テーマ (3つまで)

(1) 説草と唱導の場

(2) 南島の民間説話と祭祀伝承

(3) 地域の伝承文化

研究テーマの
進捗状況

上記テーマについて (1) 研究発表と論文執筆を順次おこない、伝承文学注釈叢書シリーズ刊行に向けて編集作業を進めている。(2) 論文執筆と共同による継続調査から『琉球の伝承文化を歩く』シリーズ刊行に向けて準備を進めている。(3) 従来の調査地に加え関連地域における伝承文化を、フィールドワークと文献調査の両面から調査研究中である。

学会、所属団体における活動
所属学会・所属団体 役職等
日本民俗学会、奄美沖縄民間文芸学会（運営委員）、説話・伝承学会、説話文学会、仏教文学会、日本仏教総合研究学会、日本宗教文化史学会、日本昔話学会、日本口承文芸学会、中世文学会、中古文学会、西行学会、日本文芸学会、伝承文学研究会、唱導研究会、巡礼記研究会、立命館大学日本文学会（評議員）、尾道市立大学日本文学会（編集委員）、尾道市立大学伝承文化研究会（代表）
Ⅲ 社会活動
1. 学外活動
(1) 栗原北公民館主催文化講演会（三訪会共催）①「文学と民俗学---伝承の方法---」
(2) 栗原北公民館主催文化講演会（三訪会共催）②「年中行事と文学世界---お盆をめぐる伝承---」
(3) 栗原北公民館主催文化講演会（三訪会共催）③「共同体を支える伝承---祭祀と説話---」
(4) 尾道市立大学文学談話会第6回「民間説話「人魚と津波」が伝えるコト」
(5) 尾道学講座「平成23年度～24年度久山田調査研究報告」（尾道市立大学伝承文化研究会報告）
(6) FMおのみち出演（「伝承文化研究会の活動」尾道市立大学伝承文化研究会）